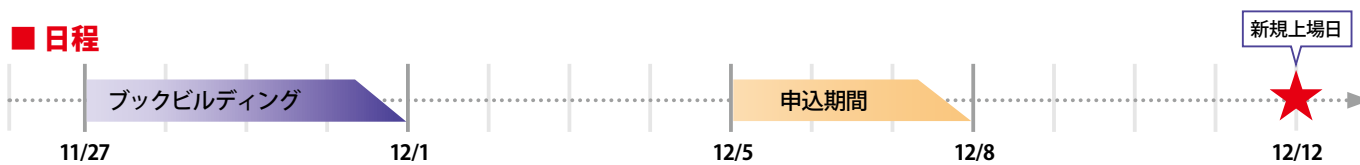


IPO銘柄 一家ダイニングプロジェクト (9266・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹証券
9266	100 株	公募: 15.90 万株 売出: 9.30 万株 (OA3.78 万株)	2,250 円 ~ 2,450 円 (19.9 倍)	SMBC 日興証券

■ 日程



居酒屋「こだわりもん一家」など展開

■ 事業内容

東京周辺で飲食事業、ブライダル事業を手掛ける。飲食事業では、創業時からの業態である居酒屋「こだわりもん一家」の他、居酒屋「屋台屋 博多劇場」、イタリアンワインバー「Trattoria&WineBar TANGO」、「鮎あらた」を展開。店舗運営は直営。ブライダル事業では、東京都港区でブライダル施設「The Place of Tokyo」を運営し、結婚式の企画、施行に加えて、その他パーティーなども行う。17年3月期の売上高構成比は飲食事業が56.9%、ブライダル事業が43.1%となっている。

■ 特徴

「こだわりもん一家」は「お客様の第二の我が家」がコンセプトで、まるで自分の家にいるようにくつろげる店造りが特徴。一方、「屋台屋 博多劇場」は「福岡・博多の風物詩である、中洲の屋台街の雰囲気や活気を再現した空間」をコンセプトとし、屋台をそのまま店にしたような店舗設計としている。

アナリストコメント

■ 定量分析

18年3月期の非連結経常利益は前期比57.1%増の2億4,200万円を見込む。積極的な新規出店で飲食事業の売上高が伸び、人件費や仕入れ原価の上昇などの影響を吸収する。ブライダル事業は前期にテレビコマーシャルを投入して拡大した反動が出る見込み。

■ 定性分析

外食株のIPOは業種的に人気のあるカテゴリではなく、需給主導で初値が決まる傾向にある。外食業界は人手不足、原価高の逆風と景気回復の追い風が入り混じって勝ち組と負け組がはっきりし始めており、中には串カツ田中(3547・マザーズ)や力の源HD(3561・マザーズ)のように高PERに買われるものもある。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は7億円程度。軽量感の強い規模で、需給主導で大きな初値上昇が期待できそう。上場案件の集中による初値買い資金の分散懸念はあるものの、株式市場全般の好況もあって投資家の参戦意欲は高くなりそう。(小泉健太)

■ 類似企業

企業名	予想PER
一家ダイニングプロジェクト (9266・マザーズ)	予想PER19.9倍 (仮条件上限)
DDホールディングス (3073・東証1部)	予想PER56.3倍
きちり (3082・東証1部)	予想PER37.1倍

■ 引受証券

SMBC 日興証券、SBI 証券、いちよし証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
16年3月期(実績)	4,335	8.0	103	▲ 22.0	34	黒転	29.9	—
17年3月期(実績)	5,418	25.0	154	49.1	76	2.2倍	59.5	—
18年3月期(会社予想)	6,144	13.4	242	57.1	169	2.2倍	122.9	—

※ 17年10月に株式分割(1株→20株)を実施。16年3月期と17年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
16年3月期	64,000	2,700	329	99	257.1	12.2	13.8
17年3月期	65,900	2,957	474	124	359.9	16.0	19.0

※ 16年3月期および17年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1 武長 太郎	716,000	50.49
2 TKコーポレーション	400,000	28.21
3 DDホールディングス	120,000	8.46
4 ベクトル	38,000	2.68
5 The CFO Consulting	36,000	2.54
6 サントリー酒類販売	20,000	1.41
7 秋山 淳	12,000	0.85
8 西山 知義	8,000	0.57

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	武長 太郎
専務取締役(営業統括)	秋山 淳
取締役(人材育成部長)	野瀬 健
取締役(管理部長)	高橋 広宜
取締役(営業企画室長)	岩田 明
取締役	赤塚 元気
監査役(常勤)	五宝 滋夫
監査役	小泉 正明
監査役	由木 竜太

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。